

# 当別町新庁舎建設基本構想（案）に対するパブリックコメント実施結果について

## 1 パブリックコメントの実施概要

(1) 実施期間 令和7年12月8日（月）から令和8年1月8日（木）

### (2) 提出意見

- ① 意見提出者数 55人
- ② 意見総数 130件
- ③ 主な意見と回答 別紙1のとおり
- ④ 意見者毎の意見内容 別紙2のとおり

#### 提出方法

・意見箱投函	20人
・電子メール	11人
・FAX	7人
・電子フォーム	17人

## 2 その他

無記名者の提出があり、意見提出の対象者であるか判断ができなかったため、無効と判断した。（4人）

#### 意見概要

・複合化について	49件
・建設候補地について	18件
・建設手法について	5件
・機能・規模について	29件
・建設コスト等について	13件
・その他意見	16件

## 主な意見と回答

主な意見	町の回答
<p>1. 施設の複合化について（49件）</p> <p>○文化ホールは建設すべきである（37件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小～中規模（200席程度）のものを希望</li> <li>・音響の設備を充実させてほしい</li> </ul> <p>○具体的説明がなく文化ホール・テナントは複合化施設として そぐわない（12件）</p>	<p>・文化ホールの必要性について、文化活動の拠点として、150席から300席程度の小規模ホールを整備することで、音楽や演劇、講演会など多様なイベントに対応でき、地域住民の文化活動の促進や町の魅力発信につながると考えています。また、新庁舎との一部機能共有により、費用を効率的に抑えつつ現実的な整備が可能になるのではないかと考えています。</p> <p>・文化ホールの併設については、町民の文化活動を支援する上で重要な課題であり、前向きに検討する必要があると考えています。ただし、事業費が大きな課題であることから、新庁舎建設の全体事業費を十分に踏まえ、慎重に検討を進めていきます。</p>
<p>2. 建設候補地について（18件）</p> <p>○旧公民館用地の周辺民有地を取得することは町の負担が大きいと感じる（5件）</p>	<p>・建設候補地の選定については、土地の立地条件のみならず、既存施設の解体費や民有地の取得費を含め総合的に判断し、できる限りコストを最小限に抑えながら建設していくこととしています。</p>

<p>○分散化について再度議論すべき（2件）</p>	<p>・分散化による新庁舎の規模縮小について検討しましたが、N T T 当別ビルや旧当別小学校などの既存施設が著しく老朽化しており、改修費がかかるほか、改修したとしても耐用年数が短いことから事業費を抑えるメリットが得られないと判断し、分散化は行わないという結論に至っています。</p>
<p>3. 建設手法について（5件）</p> <p>○リース手法に不安がある（3件）</p> <p>○町内の事業者が設計・施工に携われるようにしてほしい（2件）</p>	<p>・町の財政状況を踏まえるとP P P（リース方式）は初期の財源確保が不要である点や後年次への費用負担を平準化できる点をメリットとして捉えています。</p> <p>・P P P（リース方式）による建設においても、地元企業が参入可能な発注形式を検討しています。</p>
<p>4. 施設の機能・規模について（29件）</p> <p>○フロアの構成について（16件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口系執務ゾーンを1階として利用する住民の利便性を考慮してほしい</li> <li>・多目的トイレやおむつ替えスペースを多く設置すべき</li> <li>・エレベーターを設置するなどバリアフリー化を進めるべき</li> <li>・災害時対策機能を充実させるべき</li> </ul>	<p>・基本構想（案）に記載された「フロア構成イメージ案」は、4階建てとした場合の参考イメージを示したものです。具体的なフロア構成については、今後の設計段階で検討してまいります。</p>

<p>○議会議場は多目的に活用できるスペースとすべき（４件）</p> <p>○庁舎を平屋建てとすべき（４件）</p> <p>○ゼロカーボンに向けた取り組みについて明記すべき（５件）</p>	<p>・議場の議席や傍聴席の配置、多目的利用については、いただいたご意見を踏まえ、議会側と協議の上、検討を進めてまいります。</p> <p>・新庁舎の建設にあたり、平屋の場合、水に浸してはならない設備（サーバー、非常用発電設備等）を浸水想定深より高い位置に設置することが必要となります。そのため、建物の設計にあたっては浸水リスクを含めた様々な観点で検討していく必要があると考えています。</p> <p>・再生可能エネルギー設備の導入については、導入設備の効果や費用対効果をはじめ、全体の建設事業費との関連性も踏まえた総合的な判断が必要であると考えております。</p>
<p>5. 建築資材・建設コストについて（１３件）</p> <p>○町財政を圧迫しないよう建設費用を抑えてほしい（３件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・著名な建築家に設計を依頼するなどはしないでほしい</li> <li>・最も低廉な手法で建築・維持管理・解体ができるよう検討してほしい</li> </ul> <p>○道産材・町産材を多く用いて建設すべき（１０件）</p>	<p>・建設コストは町として重要な懸念事項であり、町民の皆様に過度な負担をかけないよう慎重に検討を進めています。物価高騰や建築単価の上昇が進んだ場合には、庁舎の必要面積縮小なども視野に適切な措置を検討いたします。</p> <p>・新庁舎建設にあたっては、メンテナンスや長寿命化の観点を重視し、設計業務を含め、可能な限り建設コストを抑えた建物となるよう検討を進めてまいります。</p>

6. その他の意見について（16件）

○医療大学跡地を候補地として活用するべき

・医療大学の移転後、役場庁舎としての利活用については、災害時の対応を踏まえた場合に、市街地から離れているというデメリットがあるため、検討対象から外れています。